

しつけ方教室って どんなことが学べるの？

★犬とアイコンタクトを取ろう

みなさんは話を聞くとき、相手の目を見て聞きますよね？愛犬をしつけるときも同じなんです！犬に号令をかける人の目をしっかり見るようにさせましょう。



こっちみてー！

他にも犬と飼い主が力を合わせて行う椅子取りゲームなど、遊びを通して楽しくしつけ方を学んでいました。愛護センターの職員さんも実技を交えて教えてくれます。悩み事があれば相談してみてください♪

★お座り、伏せ、待てが上手に出来るかな？

交通量の多い場所などで急に犬が飛び出したら大変。そんな時、ちゃんと「お座り」「伏せ」「待て」が出来れば、危険を回避することにもつながります。まずはご褒美を使いながら練習してみましょう！

お座り



伏せ



待て



みなさんは大丈夫ですか？

散歩の時に意識しよう



また、首輪はゆるめに締めると、抜けやすくなります。また、首輪はゆるめに締めると、抜けやすくなります。



しつけ方教室に 参加しました！

白金在住 古池さん
愛犬 ムギちゃん

「しつけ」を家族で考えるきっかけになればと思い、参加しました。犬をかわいがるだけでなく、「責任をもって飼う」ということを改めて考える良い機会になりました。

～編集後記～

今まで愛護センターに行ったことがなかったのですが、犬のしつけ方教室を見学したり、動物のことを学べて気軽に行ける場所であることがわかりました♪犬や猫の新しい飼い主募集の情報もホームページに載っているのでぜひチェックしてみてください！

MAP



▶閉館日 愛護館・ふれあい館 月曜日と年末年始

今年の8月にリニューアル！ 愛護センターに行こう！

愛護センターのリニューアルでは、猫の完全屋内飼育を知っていただくためのモデルルームを新設。また、子ども向けの図書コーナーも充実させました！

詳しくはコチラ→



花城 直子

いながわ 特派員報告



鈴木 タ子



ペットを飼ううえで大切な「しつけ」。みなさんできていますか？ペットと一緒に暮らす中で気をつけるべきことを県動物愛護センター（以下愛護センター）の中嶋さんにお話を伺いました。

▶問合せ 県動物愛護センター ☎06-6432-4599

ペットと良い関係を築こう！
ペットのしつけ

みなさんは犬や猫などのペットを飼っていますか？ペットと触れ合うと癒されますよね。ペットは、家庭内や周りの人との会話を増やし、人間関係を円滑にしてくれたり、命の大切さを教えてくれることもあります。

その一方で、鳴き声やトイレなどで他人に迷惑をかけないようにすることが必要です。人とペットがより良い関係を築き、一緒に楽しく暮らすために守らなければいけない人間社会のルールを正しく教えることを「しつけ」といい、それを教えるのは飼い主の責任です。

「しつけ」と聞くと難しいイメージを持っている人も多いかもしれませんが、まずは名前を覚えさせることから始めましょう。飼い主が名前を呼んで褒めたりすることで「呼ばれる」と良いことがあると学ばせましょう。すると、ペットとの間に信頼関係が育まれ、絆が深まるだけでなく、ペットが寿命を迎えるまで、責任を持って飼い続けることにもつながります。正しいしつけ方が地域全体に広がるとうれしいですね。



県動物愛護センター
なかしま みずほ
中嶋 瑞穂 主査

こんな時、どうしたらいいの…？

Q. もし、飼っている犬や猫がいなくなったり、迷い犬や猫を保護した場合どうしたらいいの？
A. すぐに警察・愛護センターに連絡しましょう。

★ワンポイントアドバイス★

突然の雷や花火などの大きな音に、ペットが驚いて家から飛び出してしまうことがあります。扉や窓が閉まっているか確認するようにしましょう。また、万が一迷い犬や猫になってしまったときに備えて、名札や首輪に飼い主の名前や連絡先を書いておきましょう。犬は鑑札と注射済票の装着が義務づけられており、その番号からも飼い主がわかります。



「100万歩チャレンジ」
スタート!!



▲9月15日、「いながわ100万歩チャレンジ!」のオープニングイベントを行い、約70人が参加。正しい姿勢で効果的に歩くためのアドバイスを受けた後、楊津小学校から道の駅までの歴史街道を歩きました。自然を感じながら楽しく汗を流した参加者は、それぞれの100日間の歩数目標に向けて、スタートを切りました。

みんなで音楽を楽しもう♪



▲9月4日、文化体育館で「親子で楽しむコンサート」を行いました。参加した親子は、音楽家の佐々木よしみさん(町親善大使)たちによる歌とピアノ、サクソの音色に耳を傾けながら歌ったり、楽器を演奏して楽しみました。アンコールでは、子どもたちから歌のリクエストも飛び出し、大盛り上がるコンサートとなりました。

ゆうだ
紫合自治会が「昭和時代の地域の写真」を展示

▶9月12～14日、紫合自治会館で「懐かしの写真展」が行われました。これは自治会内の約15軒が写真提供に協力したことで実現したもので、提供者自らが子どもたちに写真を解説する様子も見られました。自治会長は、「各家庭には、まだまだ貴重な写真が大切に保管されていると思う。若い人たちにも地域への関心を深めてもらうために、次回はいっと多くの写真を集めたい」と話しました。



猪名川町から世界へ飛び立て!



▲9月1日、社会福祉会館で「第28回英語スピーチコンテスト」が開催され、中学生と高校生62人が英語の表現力を競い合いました。高校生の部優勝の^{しづえ}江彩花さんと準優勝の^{かわい}川合玲央さんは来年、本町の姉妹都市オーストラリアのパララット市へ、両市町の友好や多文化理解を深めるための友好大使として派遣される予定です。

東京パラリンピックを目指して



▲9月16日、B&G 海洋センターで梶鉄輝さん(19歳・川西市在住・日本写真判定会所属)による講演会「僕が東京パラリンピックを目指すわけ」が行われました。梶選手は、小学校2年生から自転車競技を始めました。中学1年生の時に交通事故による大けがで、右腕が麻痺する障がいを負いましたが、その後も競技を続け、2年前から東京パラリンピックを目指し、トライアスロンに本格的に挑戦。「事故に遭い、障がいを負ってしまったが、だからこそ今の僕がある。」と、どこまでも明るく前向きに挑戦を続ける姿勢が、参加者38人の胸を強く打ちました。

応急手当を学ぼう



▲9月7日、イオンモール猪名川で「救急フェア」を開催し、救急隊員や救急アドバイザーによる心肺蘇生法やAEDの体験、高齢者予防救急講座などを行いました。普段はあまり乗ることがない救急車の内部を見学した子どもたちは、隊員による機材の説明などを興味津々に聞いていました。

未知の分野に挑戦!



▲8月16日に行われた「数学・理科甲子園ジュニア2019」で、猪名川中学校科学部の夏原凜太郎さん・松浦佑希さん(2年)、鈴木灯成さん(1年)さんが優勝。12月に行われる「科学の甲子園ジュニア全国大会」に県代表としての出場を決め、その結果を町長に報告しました。

ふおと にゅ〜す

あふれる青少年のパワー!



▲8月25日、イナホールで「オールジャンルフェス TEENS FES 2019」が開催されました。10代の若者を中心としたグループが音楽やダンスを披露したこのフェスは、準備や運営なども若者を中心に行われています。参加者は、「多くの人に協力いただいたおかげで成功することができ、感謝の気持ちでいっぱいです」と話しました。

みなさんの長寿を祝って

▶9月7日、文化体育館で「敬老会」を開催し、70歳以上の人約1,000人が参加しました。当日は、節目の年(満100歳・満88歳(米寿))を迎える人にお礼状を、8020運動達成者には表彰状を贈りました。また、猪名川保育園の「なかよし太鼓」、六瀬中学校吹奏楽部による演奏などが行われ、皆さんをお祝いしました。

町では、今年度22人が満100歳を、223人が米寿(88歳)を迎えます。9月17日には、満100歳を迎えた北山あきゑさんを町長が訪問し、お祝いの言葉を贈りました。

